

【各科目の説明】

平成 27 年度の事業活動収支計算書の各勘定科目の概要は下記のとおりです。

I. 教育活動収支

(1) 教育活動収入

① 学生生徒等納付金

入学辞退者が多く（学部 29 名、学編 2 名、修士 1 名、計 32 名、入学金 1,280 万円）、学部生が 8 名、大学院生が 12 名増員となったため、収入が増加しました。

内訳は下表の通りです。

	人数	金額	備考
入 学 金	190	76,000,000 円	学部 112 人, 学士編入 20 人, 修士 49 人, 博士 9 名 (辞退 32 人含む)
授 業 料	521	582,930,000 円	
実 験 実 習 料	373	92,812,500 円	学部 : 年 250,000 円
施 設 維 持 料	521	87,237,500 円	学部 : 年 180,000 円、修士・博士 : 年 150,000 円、長期在学 : 年 100,000 円
養 護 実 習 料	22	2,200,000 円	@100,000 円 × 22 名
保 健 師 実 習 料	63	4,158,000 円	@ 66,000 円 × 63 名
研 究 生 他	23	2,590,000 円	研究生 500,000 × 5 名他
計		847,928,000 円	

② 手数料

入学検定料について、受験者数及び収入額の推移は下記の通りです。

	大 学 院		学 部			計	金 額
	博士	修士	学編	一般	推薦		
2009 年度	25	65 (25)	62	450	20	622 名	2,177 万円
2010 年度	12	69 (32)	73	432	56	642 名	2,257 万円
2011 年度	18	57 (24)	77	467	34	653 名	2,285 万円
2012 年度	13	55 (27)	50	428	42	588 名	2,058 万円
2013 年度	19	55 (27)	39	388	38	539 名	2,154 万円
2014 年度	20	58 (23)	49	452	46	625 名	2,500 万円
2015 年度	19	83 (35)	44	282	35	463 名	1,852 万円
2016 年度	19	65 (22)	40	309	37	470 名	1,880 万円

※上表には証明手数料 322,400 円、再試験手数料 176,000 円、研究審査料 50,000 円
学位審査手数料 500,000 円は含まない。

※()内はウイメンズヘルス・助産学専攻の学生数

③寄付金

現物寄附 1,491 百万円、特別寄付 565 百万円、一般寄付 1,197 百万円を計上した結果、合計 3,253 百万円の収入となりました。

公益財団法人 聖ルカ・ライフサイエンス研究所の解散に伴う同法人の事業承継や一般財団法人 聖路加財団からの大村進・美枝子記念聖路加臨床学術センター関連資産の無償譲受について、施設設備以外の承継額（合計 2,686 百万円）を現物寄附および一般寄付として計上しています。

④経常費等補助金

国庫補助金 348 百万円、地方公共団体補助金 120 百万円、その他補助金 12 百万円を計上し、合計 480 百万円の収入となりました。大学事業・病院事業各々の主な内容は下記のとおりです。

i) 大学事業

大学事業においては合計 301 百万円の補助金を受け入れており、主なものは下記のとおりです。

イ) 日本私立学校振興・共済事業団からの補助金

今年度は、昨年度に引き続き、「私立大学等改革総合支援事業」の 2 タイプの取組が選定されたこともあり、一般補助、特別補助で 279 百万円の収入となりました。前年対比 3 百万円の減額ではあったが、依然高水準を保っています。

ロ) 文部科学省からの直接補助金

・ 大学改革推進等補助金	
看護系大学教員養成機能強化事業（3 年目）	13 百万円
がんプロフェッショナル養成プラン（4 年目）	4 百万円
・ 私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金（当年度）	5 百万円

ii) 病院事業

病院事業においては合計 178 百万円の補助金を受け入れており、主なものは下記のとおりです。

・ 救急救命センター施設整備等補助金（運営費）	103 百万円
・ 臨床研修費等補助金	24 百万円
・ 周産期母子医療センター運営費補助金	24 百万円

⑤付随事業収入

認定看護師教育課程等の補助活動収入 92 百万円、共同研究等の受託研究（委託形態の厚生労働省科研受託収入を含む）493 百万円、治験収入 200 百万円等を計上し、802 百万円の収入となりました。

⑥医療収入

医療収入は 34,302 百万円となりました。内訳は下記のとおりです。

項 目	金 額
入院収益(室料差額を除く)	16,421 百万円
室 料 差 額 収 益	3,284
外 来 収 益	10,344
予防医療センター収益	3,234
メディローカス収益	626
産科クリニック収益	246
訪問看護ステーション収益	137
その他の医業収益	209
保険等査定減	△ 199
医療収入合計	34,302

⑦雑収入

私立大学退職金財団交付金 42 百万円、大学・病院施設の利用料収入 421 百万円、厚生労働科学研究・共同研究等に係る間接経費収入 83 百万円、他法人からの業務受託収入 65 百万円等を計上し、665 百万円の収入となりました。

上記の結果、当年度の教育活動収入は 40,369 百万円となりました。

(2) 教育活動支出

① 人件費

教員人件費 635 百万円(本務教員 613 百万円、兼務教員 21 百万円)、職員人件費 16,761 百万円(本務職員 14,731 百万円、兼務職員 2,030 百万円)等を計上し、人件費合計は 18,173 百万円となりました。

② 教育研究経費

病院との一体化による組織の有機的な一体運営体制により施設の共同使用が促進、効率化された等の要因により、全体金額が微減し、当期計上額は 354 百万円となっています。

主な内訳は、実験実習費 14 百万円、消耗品費 21 百万円、修繕費 5 百万円、委託管理費 77 百万円、奨学費 29 百万円、減価償却費 89 百万円等です。奨学費は、前年度比 16 百万円の増額であり、学生国際奨学金が拡大されたことによるものです。

③ 医療経費

当期の医療経費合計は 17,276 百万円であり、主な内訳は下記のとおりです。

項 目	金 額
材 料 費	8,782 百万円
委 託 費	1,872
減 価 償 却 費	2,353
設 備 関 係 費	1,883
研 修 研 究 費	43
水 光 熱 費	966
診 療 費 免 除	392
消 耗 品 費 ・ 消 耗 備 品 費	342
租 税 公 課	260
そ の 他 の 経 費	381
医 療 経 費 合 計	17,276

材料費は高額医薬品の増加や手術件数増加に伴い増加しています(前年度比: +861 百万円)。また、減価償却費は新規資産取得・リース契約締結に伴い増加しています(前年度比 329 百万円)。

④ 管理経費

当期の管理経費合計は 2,599 百万円となっています。主な内訳は、減価償却費 473 百万円、消耗品費 364 百万円、賃借料 315 百万円、機器保守料 276 百万円等です。

⑤ 徴収不能額等

主として病院部門における医療未収入金の回収不能額および回収不能に備えた引当金繰入額を計上しています。

上記の結果、当年度の教育活動支出は 38,470 百万円となり、教育活動収入から教育活動支出を控除した教育活動収支差額は 1,899 百万円となりました。

Ⅱ. 教育活動外収支

(1) 教育活動外収入

① 受取利息・配当金

低リスクの金融商品で運用をしており、15百万円の収入となりました。

(2) 教育活動外支出

① 借入金等利息

借入金等利息 3百万円は、日本私立学校振興・共済事業団からの借入に係る支払利息です。

② その他の教育活動外支出

公益財団法人 聖ルカ・ライフサイエンス研究所の解散に伴い同法人の事業を承継したため、同法人において計画遂行中であった臨床疫学等に関する研究助成を当法人にて実行し、助成金支出額 18百万円を寄付金として計上しています。さらに、その他の雑損失 6百万円を計上し、その他の教育活動外支出合計は 24百万円となりました。

上記の結果、当年度の教育活動外収入から教育活動外支出を控除した教育活動外収支は△11百万円となり、経常収支差額は 1,888百万円となりました。

Ⅲ. 特別収支

(1) 特別収入

①有形・無形固定資産売却差額

病院部門における医療機器の下取価額と帳簿価額の差額を計上しています。

②その他の特別収入

公益財団法人 聖ルカ・ライフサイエンス研究所および一般財団法人 聖路加財団から承継した大村進・美枝子記念聖路加臨床学術センターの土地・建物・設備承継額（合計 11,604 百万円）を現物寄附として計上しています。

また、施設設備関係の補助金として、104 百万円（救急救命センター施設整備等補助金（設備整備）61 百万円 等）を計上しました。

さらに、過年度修正額 5 百万円を計上し、その他特別収入計上額は合計 11,713 百万円となりました。

(2) 特別支出

①資産処分差額

主として病院部門における医療機器更新等に伴う既存資産の除却損および除却費用を有形・無形固定資産処分差額として計上しています。

②その他の教育活動外支出

公益財団法人 聖ルカ・ライフサイエンス研究所の資産承継の際の、固定資産計上基準未満の費用処理額等を計上しています。

上記の結果、特別収入から特別支出を控除した特別収支差額は 11,599 百万円となりました。

上記「Ⅰ. 教育活動収支」、「Ⅱ. 教育活動外収支」、および「Ⅲ. 特別収支」を合計し、基本金組入前当年度収支差額は 13,487 百万円となりました。

IV. 基本金組入額

基本金は、教育研究のために必要な資産を継続的に保持するために維持すべき金額を計上しています。当年度の基本金組入高 15,903 百万円の内容は下記のとおりです。

①第1号基本金

公益財団法人 聖ルカ・ライフサイエンス研究所および一般財団法人 聖路加財団から承継した大村進・美枝子記念聖路加臨床学術センターの土地・建物・設備に加え、当年度の支払資金により支出した教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書等の合計額 13,816 百万円 (A) と借入金・未払金の返済分 1,145 百万円 (B) の合計額 14,961 百万円 (C) から、当期除却額 292 百万円 (D) と当期の未払額 1,399 百万円 (E) を控除した金額 13,269 百万円が当期の基本金組入額となっています。

項 目	金 額
【当期取得】	
土 地	4,500 百万円
建 物	7,179
構 築 物	73
教育研究用機器備品	46
管 理 用 機 器 備 品	1,838
図 書	8
ソ フ ト ウ ェ ア	173
計	13,816 (A)
【借入金・未払金返済】	
借 入 金 返 済	33
未 払 金 支 払 高	1,111
計	1,145 (B)
小 計	14,961 (C) = (A) + (B)
当 期 除 却	△ 292 (D)
未組入高 (未払額)	△ 1,399 (E)
当 期 組 入 高	13,269 (C) + (D) + (E)

②第4号基本金

本年度に 2,634 百万円第4号基本金の繰入を行いました。

2014 年度に大学・病院の組織統合（法人一体化）を実現し事業規模が拡大したことに伴い、恒常的に保持すべき資金として設定されている第4号基本金の計算のベースとなる事業活動支出が増加したため、本年度に繰入額が大幅に増加しています。

V. 当年度消費収支差額

基本金組入前当年度収支差額 13,487 百万円から基本金組入額 15,903 百万円を控除した当年度収支差額は△2,416 百万円となりました。